

ジョージアのスタートアップ・エコシステム

ジョージア大使館 一等書記官
ダヴィド・ゴギナシュヴィリ (PhD) (左)

ジョージア・ビジネス・テクノロジー大学 准教授
アニ・ヴァシャクマゼ (右)



「文明の十字路」とも称される地域に位置し、欧亜間の物流のハブとして知られているジョージアは近年イノベーションと起業の拠点として台頭しており、世界中の起業家を引き付けている。日本との時差5時間、ユーラシア大陸をはさんで日本の反対側に位置する英国との時差は4時間しかなく、まさに、コミュニケーションの架け橋として機能している。

ジョージアが注目を浴びてきた背景はその戦略的な立地だけではない。政府が官僚制および法的基盤を徹底的に改革し、ビジネスをしやすい環境づくりに成功した。世界銀行によると、ジョージアは世界で最もビジネスフレンドリーな国のひとつであり、総合的な租税負担率は世界で3番目に低く、スタートアップが成長するための魅力的な環境を提供している。さらに、グローバルIT企業向けの特別税制が導入された結果、法人税と個人所得税が5%まで引き下げられ、現時点では、この優遇措置を利用する企業数は120社以上に達している。

強力なイノベーションの推進力として登場し、国のエコシステム構築を主導するのはジョージア・イノベーション・テクノロジー庁 (Georgia's Innovation and Technology Agency / GITA) である。GITAは資金援助の助成金プログラムを導入したほか、定期的にトレーニングを行い、ネットワークの機会を設け、最先端技術へのアクセスを提供するなど、起業家にとってスタートアップを立ち上げやすい環境を構築している。

また、欧州ビジネス・エンジェル・ネットワーク (EBAN) および世界ビジネス・エンジェル・ネットワーク (GBAN) に加盟しているジョージア・エンジェル投資家ネットワーク (Axel) がジョージアのエコシステムに国際的な資金を誘致するために実施している活動も特筆すべきだ。Axelはスタートアップ企業とエンジェル投資家をつなぐ役割を果たすとともに、イベントの開催や投資文化の醸成を通じて、ジョージアの

イノベーション・エコシステムの活性化に著しく寄与している。

ジョージアのエコシステムがいかに魅力的であるかを象徴する事例として、GITA、ジョージア銀行、および世界的に著名なアクセラレーターである500 Globalとのパートナーシップがあげられる。500 Globalがジョージアで展開するアクセラレータープログラム「500 Global in Eurasia」はジョージア一国のみならず、地域全体におけるスタートアップ支援を拡大しており、2020年以降、合計70社以上のスタートアップ企業の成長を支援してきた。

上述したように、ジョージア政府、民間セクター、および国際的なアクターの協力により、良好なスタートアップ環境が形成されてきた。ここでは、そのエコシステムで誕生した3つのスタートアップを紹介したい。

バイオキムファーム (BioChimPharm)

<https://biochimpharm.ge/en/>

ジョージアは8000年の歴史を誇る世界最古のワイン産業で有名であると同時に、バクテリオファージ^注技術およびファージ療法の発祥地としても知られている。バイオキムファームはジョージアに拠点を置く大手バイオ医薬品企業であり、バクテリオファージ技術に基づいた新規抗生物質の研究、イノベーション、および生産に注力し、MRSA、緑膿菌、大腸菌、腸球菌、サルモネラ菌、赤痢菌、連鎖球菌などの危険な病原体によって引き起こされる抗生物質耐性感染症の治療と予防に向けた医薬品を製造している。

1934年に誕生した世界最古のバクテリオファージ研究所の科学的・技術的基盤をもってバイオキムファームは設立された。抗生物質の登場によりバクテリオファージの研究は一時下火となったものの、抗生物質が効かない耐性菌が出現した。バイオキムファームにより開発されたファージ療法は薬剤耐性菌に対して著

しいポテンシャルを示し、バクテリオファージの研究は再び注目を集めるようになった。

2023年9月、バイオキムファームはEUのGMP（適正製造基準）認証を取得するという重要なマイルストーンを達成した。これにより同社は、GMP準拠のバクテリオファージ医薬品を産業規模で生産できる唯一のグローバルメーカーとなり、現在8カ国以上に製品を輸出している。

注：バクテリオファージは細菌に感染するウイルス。多くが細菌を殺す性質を持つ。

エルヴン・テクノロジーズ (Elven Technologies)

<https://www.elventech.net/>

エルヴン・テクノロジーズ (ET) は電気自動車 (EV) 産業における安全基準を革新するために最前線で活動しており、リチウムイオンバッテリーの耐火技術において先駆的なアプローチを展開している。同社は、2000℃もの極限温度に30分以上も耐える耐火複合材料の開発に成功した。ETの耐火複合材料は、BridgehillやFire Isolatorといった競合製品とは異なり、炎を抑えるだけでなく、熱伝達を大幅に削減する機能を有しており、EVバッテリー産業に限らず、航空宇宙や海運セクターにおいても事業拡大を視野に入れている。

第三者機関による厳格な試験 (UL 2596認証を含む) により、同技術が極限の熱条件下においてもバッテリー収納部の破損を防止する能力を持つことが確認されている。さらに同社はPCT (特許協力条約) 特許を保有しており、主要な国際市場における知的財産権が保護されている。現在、UN ECE R100およびISO 26262認証取得の準備を進めており、欧州および米国市場への製品投入に向けた基盤を固めている。

エルヴン・テクノロジーズは、2030年までにEVバッテリー保護産業の1.3%の市場シェアを獲得することを目指している。主要自動車メーカーとの交渉が進行中であり、2028年までに生産を拡大し、2028年には4200万ユーロ、2030年には1億500万ユーロを超える収益を見込んでいる。

Aisitec LTD: クラウド型人事管理システム (HRMS)

<https://www.aisitec.com/>

Aisitec LTDは、クラウドベースの人事管理システム (HRMS) をサービスとしてのソフトウェア (SaaS) モデルで提供する企業である。ジョージア国内で従業員数100名以上の数社がAisitec HRMSを導入してお

り、2025年にはEU加盟国への事業拡大が計画されている。Aisitec HRMSは、組織の日常的な人事管理業務のデジタル化をサポートし、紙ベースのプロセスを最小化または完全に排除することを目標とするSaaSモジュールだ。同システムは、従業員向けに幅広いセルフサービスツールを提供しており、以下の業務を効率化する：

- ・有給・無給休暇の申請
- ・勤務時間および出欠データの管理
- ・契約書およびその変更履歴の閲覧

これにより、人事部への問い合わせが大幅に削減される。さらに、人事担当者が電子承認機能を活用することによって、承認や却下などの手続きを効率化できる。同時に、統計・分析レポートの作成が可能となるなど人事データ管理の包括的なツールともなる。また、契約管理、休暇管理、勤務時間および出勤トラッキングモジュールと完全に統合されているため、給与処理を大幅に簡素化する。もちろん、所得税や年金制度など、さまざまな税制に対応できるだけでなく、ボーナスおよびペナルティ管理も可能だ。

Aisitec HRMSはAisitec LTDが独自に開発したシステムであるため、クライアントのニーズに合わせたカスタマイズおよび機能拡張が簡単にできる。さらに、企業の既存システム (アクセス制御やID管理など) との統合が可能であり、柔軟性と互換性を兼ね備えている。

本稿では医療、製造、人事管理といった3つの分野を代表するスタートアップを紹介したが、ジョージアのエコシステムには強大なポテンシャルを有するスタートアップが多数存在している。今後、日本・ジョージアの二国間関係において「スタートアップ」がひとつのキーワードになっていくだろう。



お問い合わせ

JOI事業企画部
E-mail: bd@joi.or.jp

ジョージア大使館
一等書記官 ダavid・ゴギナシュヴィリ
E-mail: dgoginashvili@mfa.gov.ge
<https://x.com/georgiainjapan>